

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人・老年看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人老年看護援助論Ⅲ	NSP33_004	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
佐野 宏一郎	414	k.sano	授業実施日の 12:10~13:00		
授業の目的・概要	この講義は、リハビリテーションの概念・目的および各期（急性期、回復期、生活期）におけるリハビリテーション看護について学ぶ。国際生活機能分類（ICF）を活用し、リハビリテーションを必要とする対象の全体像をつかむことを学ぶとともに、リハビリテーションにおける多職種連携、病院・地域連携、対象者および家族への援助について、グループワーク・ディスカッションを行い、考察を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	リハビリテーションを必要とする主な疾患について、疾病治療論や成人看護学援助論・老年看護援助論で学んだ内容を復習しておくこと。また、授業内容に対する質問があれば、リアクションペーパーなどを活用して積極的に疑問を解決すること。				
教科書	ナーシング・グラフィカ成人看護学(5):リハビリテーション看護(第5版)/編:石川ふみよ/メディカ出版/2024				
参考書	ICF(国際生活機能分類)の理解と活用 人が「生きること」「生きることの困難(障害)」をどうとらえるか(第2版)/著:上田敏/萌文社/2005				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	リハビリテーションの定義、リハビリテーション看護の役割・機能を説明できる。		NS (1)、(2)、(3)、(4)、(5)		
②	リハビリテーションを必要とする障害に対する医療・看護の要点を説明できる。		NS (1)、(2)、(3)、(4)、(5)		
③	ICFの構成要素を理解し、ICFの枠組みを用いたアセスメントが実践できる。		NS (1)、(2)、(3)、(4)、(5)		
④	リハビリテーションを必要とする人とその家族に対し、生活の再構築を目指した看護計画を立案することができる。		NS (1)、(2)、(3)、(4)、(5)		
⑤	リハビリテーションに関わる専門職と看護の連携・協働について考察することが出来る。		NS (1)、(2)、(3)、(4)、(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	リハビリテーションの定義・歴史と、リハビリテーション看護で用いる主要概念を学ぶ。	講義	ICIDH、ICFについて教科書で確認する。	1	
2	リハビリテーション看護を必要とする代表的な疾患と、急性期・回復期・生活期の看護について学ぶ	講義	急性期・回復期・維持期を教科書で確認する。	1	
3	生活機能障害のリハビリテーション看護を学ぶ(1)	講義	摂食嚥下障害について教科書で確認する。	1	
4	生活機能障害のリハビリテーション看護を学ぶ(2)	講義	排泄の障害について教科書で確認する。	1	
5	生活機能障害のリハビリテーション看護を学ぶ(3)	講義	高次脳機能障害について教科書で確認する。	1	
6	発達段階別のリハビリテーション看護について学ぶ	講義	高齢者のリハビリについて調べる。	1	
7	ICFの枠組みを用いた対象理解について学ぶ	講義	ICFの構成要素とその内容を教科書で確認する。	1	
8		演習		1	
9	ICFの枠組みを用いた看護の展開について学ぶ	講義	ICFを用いた看護計画について教科書で確認する。	1	
10		演習		1	
11				1	
12	生活の再構築を目指した看護について学ぶ。	講義	生活の再構築について教科書で確認する。	1	
13		演習		1	
14	チームアプローチの実際とリハビリテーション看護における看護師の役割について学ぶ	講義	リハビリテーションに関わる専門職について教科書で確認する	1	
15		演習 GW		1	
試	達成度評価・評価ポイントを参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人・老年看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	15	5	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	0	0	65
	思考・推論・創造する力	20	5	1	0	0	26
	協調性・リーダーシップ	0	0	1	0	0	1
	発表・表現伝達する力	0	0	1	0	0	1
	コミュニケーション力	0	0	1	0	0	1
	取組みの姿勢・意欲	0	2	1	0	0	3
問題を見発見・解決する力		0	3	0	0	0	3
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験の範囲は講義全体を対象として出題し、80点満点とする。知識・技術力を中心に評価する。				試験後に試験問題と解答についてコメントを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	講義内で課される ICF を用いた看護過程について提出されたものを総合的に評価する。看護過程の展開に必要な知識、技術、思考、推論、看護援助の方向性を見出す力を中心に判断する。				授業の中で看護過程の要点をフィードバックする
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①	✓	グループワークの過程と発表の内容を総合的に評価する。				授業の中でフィードバックする。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	科目責任者は病院の看護師として 15 年の実務経験を有しており、他の教員も看護師として豊富な臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員のもと、リハビリテーションを要する人と家族への看護の実践を学ぶ。						
そ の 他	この講義は、今後の社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。教員が示す授業方法を遵守すること。毎回の講義内容を、配布資料と共に復習すること。また該当する教科書の範囲を予習し、基本的な内容を理解した上で講義に望むこと。授業中の携帯電話、スマートフォン等の使用は、指示があった場合を除き禁止する。						